

## 情報公開文書

課題名 :人工股関節置換術で使用するポリッシュテーパードセメントシステムの術後大腿骨温存効果に関する研究

研究期間: 臨床研究審査委員会承認日~2031年3月31日

研究開始予定日: 臨床研究審査委員会承認日~

### 1. 研究の対象

2004年4月1日~2030年12月31日の間に、変形性股関節症等の股関節疾患に対して当院で人工股関節置換術を受けられ、術後5年以上経過観察が行われている患者さん

### 2. 研究目的・方法

変形性股関節症などにより股関節の動きが悪くなり、強い痛みや歩行困難が生じた場合、「人工股関節置換術」という手術が行われます。この手術は、痛みを和らげ、日常生活の動きを改善する効果が期待できます。

近年、平均寿命の伸びにより、人工股関節にはより長い期間にわたって良好な機能を保つことが求められています。そのため、骨をできるだけ温存し、しっかりと固定できるインプラントの選択が重要となっています。

本研究では、骨セメントを使用する特定のタイプの大腿骨システムを用いた人工股関節置換術を受けられた患者さんの術後経過について、診療録(カルテ)や画像検査、骨密度検査の結果を用いて調査します。本研究は、新たな検査や治療を追加で行うものではなく、これまでに実施された診療情報を用いて解析を行う後方視的観察研究です。

本研究により、このタイプの人工関節がどのような患者さんに適しているかを明らかにし、人工股関節置換術のより良い長期成績の維持につなげることを目的としています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部

情報: 性別、身長、体重、BMI などの基本情報、レントゲン検査・骨密度検査の結果、股関節の痛みや動き、歩行能力などの評価スコア 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

### 5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

### 6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(様式4)

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 整形外科 岩瀬敏樹(研究責任者)

住所:静岡県浜松市中央区富塚町 328

電話:053-453-7111(病院代表)